# 護國女太平記

自　隼
至　陸

へ13
2555
3

早稲田大學圖書

# 護國女太平記卷之四

## 目録

一　詮さん　御前　新ん　詩　奇の事

一　牧野柳澤事　侍ん　の事

一　将軍　家綱公　御高　乳の事

雅楽頭偽云　板ぎ　の事

一　堀田備中守　秀ひろ　云つちうの　ぐん　の事

門 へ13
號 3555
巻 3

早稲田大學図書館
昭 33.11.10 受
藏書

雅樂頭切腹の事

護国寺に記さるべし

おきく殿 御前前に於ては詩歌の事

牧野柳沢吉保の事

去る頃鈴木右馬丞綱吉公を柳沢保明の妻
[illegible] 法名[illegible] 天晴尼と好
[illegible] 婦人性を[illegible]
御奉行所の御殿へ入り[illegible]
年[illegible] 曾[illegible]
[illegible] 於[illegible]
於[illegible] 御成と好せ

[illegible]月十五日武田左衛門佐殿　城の太郎
[illegible]桂昌院殿の御教へ入道殿　御文ども
御母君いまだ[illegible]殿様御[illegible]殿へ[illegible]
[illegible]上らの御ゆめ[illegible]
御母君[illegible]御文の作り[illegible]
[illegible]人の[illegible]
世[illegible]
[illegible]
[illegible]
云上ち

[illegible]
[illegible]
[illegible]

宮殿屏風

[illegible]

雪中吟

北日雪漫々　庭前孜壮観
銀下銀樹下　白虎玉龍蟠

古木春

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世後と形く是中一乃古女者紀元前世中成
古百仕牧きの若君古誕生とす〜母さハ古孝
元班之と部ハ中きけ母屋ハ成之殆〜おつとうが
中上ハ通り只〜古孝公を思ひ〜宣〜古さ〜
志う殆毎〜ハ武義之学四う〜達ハ女房多〜古さ
〜ハ古屋下相成ハ母うう白拙〜さ殆ハしう〜
古母君保古ハうう古孤是う已ハうハ事と分
う中上ハ志ハ伯ハ縁古ハ古孝公保 古母君の古孝げ
成とうう古公縁りう古孤う思ハ形〜宣義
中うれハ宣ハ行〜ハ古孝成ハう殆ハ母ハ

牧野伯後中成ハきれ 御母君保の思ハ
新の通り是ハ古母孝ハ伯後ハ兼り古孝
乃ハ母ハ松ハ殆〜ハ計ハ古孝ハ〜と御太郎と
中稲成ハきハ成ハこの事切ハ高ハ松ハ成後ハ
う〜ハんハと 御妻ハ保ハ遅ハ〜
う〜と殆ハ古孝ハ成ハ母ハ〜ハ通り事
古成ハ伯ハ先指〜ハ殆ハ〜ハ
行事ハ古孝ハ入古ハ女中ハう宣ハ計ハう
きれハ殆ハれハ御古孝事殆ハ成ハ〜ハ
ハ古孝ハ殆ハ〜ハ成ハ〜ハ
古孝事計ハ古母ハ〜ハ 白殆ハ古孝ハ

[illegible]京都[illegible]不審[illegible]公家方[illegible]
[illegible]女の中ゆゑ[illegible]家[illegible]不法[illegible]
[illegible]氣[illegible]高位[illegible]事なきばかり妾
[illegible]家[illegible]内[illegible]仕[illegible]
[illegible]而[illegible]なば[illegible]
金殿の威勢[illegible]私[illegible]
御[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

京都にて聞しる娘くに西六条門跡長成也
抱へ奉る女房を召寄る娘成長成取
く宿るいろ〳〵成涙を流す所を義経見て
その歳十七なる天晴の美人なり古へ小町とも
無双世にかくれなき母子涙〳〵多くの金銀を
せ世にいう姫なり娘なるゆえ〳〵ゆたかに暮す夫婦しも
所前と市中を流れ武蔵坊家風を得て打〳〵者な
義経卿の御〳〵に成覚へ義経さえ〳〵なり好
多数なる天晴なる女子見へ覚ぶ大変
恋の御後世上京待ゆゑ御年〳〵
て京都にて元来家風を命じその縁まで

再無吟味乃う〳〵成内〳〵にて貴
ひいろ〳〵所帰り
所前〳〵松娘なるにて
元上市成市下見成下さる〳〵ない〳〵で後世
成〳〵迫法師千万形〳〵成
乃市同利なる結ぶ結ぶ下人ゆを及び成吉日成
ろ〳〵
所母義経〳〵遣〳〵成〳〵
計〳〵ひ志〳〵〳〵云ば世房おさえ義り吉成松
子成
桂昌院様中上〳〵〳〵成〳〵成
所殿〳〵百〳〵〳〵筑〳〵
義経〳〵〳〵廣〳〵成〳〵成風信成〳〵
覚〳〵成〳〵娘〳〵〳〵成〳〵
義経〳〵又〳〵〳〵成〳〵
娘〳〵成〳〵天上人の縁

世子様より御使者を以て
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御書者[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゆゑ[illegible]と愛云ひ侍りしかの
御養君
しかるべき京都有栖川親王
御養君に
お定めて旨内々[illegible]
云ひ[illegible]中者ども[illegible]三家[illegible]家つを[illegible]
大さて云ひ[illegible]云と有り人々悲歎
しかの顔をてまもりまゐ[illegible]
[illegible]人形[illegible]
出々[illegible]云ゆゑ
御養君[illegible]有栖
川親王[illegible]
御神君[illegible]尾張紀伊水戸三家[illegible]
[illegible]美濃世継[illegible]三家のうち

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の仰せ[illegible]清家の家中[illegible]と
一変し銀林公成御書君より定り為式出ル
城有無[illegible]上使を立てきりに酒井氏の折
角思ひ[illegible]御書君[illegible]
[illegible]返事云葉とせず
赤面[illegible]
相軍御他異[illegible]
上使帰り[illegible]御登城有[illegible]用意
[illegible]沢[illegible]
大切[illegible]備後[illegible]
登城[illegible]何[illegible]厳方御書君[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
御書君[illegible]
[illegible]
[illegible]

大納言殿ハ去る頃ハ七日法大名の
御つるもの
御上洛被成候ハ八日ハ
御出仕
家綱公
御他界
被遊候
義有院殿と号し
奉
大御所
大奥
御時酒井氏
大番頭
御
中
立退
被成
大御所
御
拾万石
加増
大
義成
御
拾万石
加増
大
義成
御
指柔氏
雅楽頭
同
病死
遠
藤
と号し
迎
家督
長丹後
守
酒井氏
改名
酒井
雅楽
頭
病死
仕
候
遠藤
家
断絶
酒井
氏
家督
相
続

乃ち是非に高中に其の芸を尊み之を賞し地
を以て豆腐に汁成極り品々高価を言
しが為に其の人数多有りし事どもを記

護國女太平記巻之四終

# 護國女太平記巻之五

## 目録


一 鎌林公御所不穏し幸世の事

護持院僧正御所祈願不成の事

一 酒井稲葉曽根柳大夫取入事

新藤井五郎恵逆の事

護國女太平記巻之五

敵対不緣の事

幷びに護持院の事

扨て右馬頭綱吉公天下を治め給ふ代目に将軍に備りて
天下を治め給ふ御母君桂昌院様は八十三の
御母君なり三の丸へ移り御所方次第
吉備つゝて天下を治め給ふ叔父様は
上京被遊御中の御仲と成ひ内
男子の中なりし五万石を賜ひ
[illegible]

徳川公方様御代に成て五万石の
立身し給ふ本庄因幡守殿と若年寄に成り
沢の山城守と御役人に成り牧野備後守殿五万三千石
取り給ふ武蔵国にて加増して七万三千石取り所側
出羽守殿老中を大久保加賀守殿豊後守殿城を取り
柳沢保光様御代に成て三万石取り所側役に成り
出羽守殿法度を立て諸大名の列に
成り給ふ

出羽守殿御役人に成り給ふ
桂昌院様の出羽守殿二度家に成て大内義
時様御年十五人の子に成り出羽守殿御
子息なれば出羽守殿夫婦共に山科に蟄居
子息新十郎と江戸へ召寄せ
当分の内養育の為に知行百石取り
新蔵殿十五年と若年寄に
成り三万石に成り給ふ所側役に成り
石高三万石加増して三万石
新蔵殿御代に成て追て出羽守殿
御隠居

桂昌院様の御使者として、赤穂へ御下向
被成、浅野内匠頭殿、御切腹
被仰付、其外御家来方、
御扶持被召放、
其上、浅野内匠頭殿、
御家来方、
御切腹
被仰付、
其外、

[illegible]

世に縁を結び大名に取り立てられ 出羽国

[illegible]

[illegible]

[illegible]

方人ありと伝聞て対面せんと待て孫
略式表敬一番ごとに出座郷人と共に
家臣一人ゝ

酒井雅楽頭様根橋支配人の事

英 新蔵新五郎 悪逆者

酒井河内守様根橋支配人雅楽頭様家来
[illegible]家智[illegible]沙汰[illegible]日数を送り者ゝの
文を遣ひ[illegible]智[illegible]
[illegible]思[illegible]迎[illegible]面対[illegible]を

[illegible]柳沢出羽守様[illegible]彼の中事[illegible]
[illegible]と[illegible]の[illegible]尾張様
[illegible]
毎日出[illegible]城[illegible]
[illegible]屋[illegible]柳沢[illegible]
[illegible]河内守様[illegible]
[illegible]退[illegible]
家老[illegible]曽根様支配[illegible]
正敬[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]柳沢の小郷の[illegible]

右新宮ノ月番家老ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出船しに大石内蔵助[illegible]

[illegible]

[illegible]

所々の者共出羽守と対面し出入魂の
こと帰国あれば出羽守に対し拙者共はそ
れぞれ立帰り　御前の所へ参り拙者共
越後に参毒殺奥向の儀尾張
徳昌院様御縁者にて尾張
御家の家老と成て御用向
後刻出羽守に対し拙者共と相談
者共を丹後守奥向に参り
家中の外に対し
出羽守様家中迄更に相談

始末の後御家令報復成る事成難き利を
説て主君を教唆し御家を弱成
いたす利福を捨無益なる争論和
ず欲して主君を教唆に及ぶ者共
出来れば賢者と称賞し者共に法令
家利を図

護国女太平記巻之五終

護國女太平記巻之六

同孫

一 御令嗣徳雲見吉様之事

酒井雅楽頭と下馬将軍之事

一 端大名御能興行

上覧之事

牧野左京亮屋敷

御成之事

護國女子平記之六

御令嬢徳松君　御撫育事

英　源斉　板下馬將軍

御令嬢徳松君御年三歳の時御乳母に成て御部屋に
出入御目見仕る柳沢吉保殿
吉方（奥入）御とりすめん事を願ふ御首尾よく相成
り御部屋（奥女）を勤めるの形成御部屋の内殿（へ入
御）みられて見そめ遊ばされ御寵愛
柳沢吉保殿御内儀（正室）に対面の上吉保殿
御下事申（）御内儀（）御部屋（）
ら世の中（）御内儀（）泣ます（）かぐや姫
京都（）下り

久八年[illegible]送り差[illegible]
[illegible]事[illegible]と[illegible]日宋安の進めを[illegible]
[illegible]
[illegible]
亮の役[illegible]御墓[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
下馬先代のごとく雅楽頭を元服と称し下りの儀法
人下馬将軍と号し寺社城大名の中記録大
小名参賀場へ朝鮮人と見うり下馬沢
金〻雅楽頭下馬寺又将軍は位
さあり只市場の門と而乗合を為れ行ぐ若と
下馬将軍と称し寺社雅楽沢元服を始り
又の所に寺〻和国を分論庭まで上り
寺の聖年二月に令副使雲右成為来聘
若宮殿と称号し成り出庭廉
寺寺せ寺の六て下間に出船寺右殿と称し

[illegible]
おく〻寺寺の将軍 縁右公出家也 家女
[illegible]
[illegible]出偏ち林大学頭と為て藤沢と号せ
豊秋出羽と号せ飛出郷楽を為され出羽中の年
号而寺寺殿出羽八一事寺出家
見八寺寺の飛て出居間寺寺の年 橋出て の者
寺寺 飛 寺 沢 出 屋 の
為寺 寺 を 寺 寺 人 まで 竹 寺 寺 出 屋
橋 せ の 出 寺 門 法 仏 人 寺 国 家 寺
法 郷 八 と 秋 三 十 九 寺 出 寺 郷 〻 と 出 寺 郷 〻 寺 寺

一途の古記ゆゑ正説いかゝせんと思ひ諸侯古説より
ゆゑ〳〵せしかん乗と集一家〳〵評議をなす諸侍大老
播田藤後守右果は表中に面〳〵古家に右家に
及ふ江家と〳〵ゝし并伊東多西井柳原也牧野井伊
掃部頭ゆゑ〳〵中ゆゑ 将軍家に御尋
ゆゑ外ゆゑ古物将古書物きゝ用ゐ古紙
物何事成進先古物と成ゆゑ
ゆゑ〳〵御事成古学問
源〳〵夜成思ひ 御母君御 桂昌院様
中上古好〳〵御諸大名其藤成覚〳〵面〳〵
御言〳〵ゆゑ古紙無ゆゑ 御上覧〳〵

かゝ〳〵古記成尋先古物と評義一変〳〵更
桂昌院様古内意〳〵云〳〵ゆゑ変ゆゑ思召
将軍家〳〵ゆゑ御上覧〳〵
大名中に叶道成得る者 御上覧〳〵
古解ゆゑ諸侯諸大名面〳〵成
思召の儀乗覚ゆゑ
〳〵ゆゑ〳〵ゆゑ
諸大名古紙無御上覧〳〵
并 牧野 本庄面〳〵 御成〳〵并
既御紙日限御定り并伊掃部頭成并
西尾隠岐守藤堂内膳正藤田内蔵助分部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

不戸上ヶ[illegible]出羽守殿[illegible]是より利出羽と称し[illegible]
[illegible]打角ヶ出羽守殿[illegible]又ハ出羽殿[illegible]と称され
出羽殿[illegible]と申候ハ[illegible]満候万民ハ幸ひ[illegible]と
云上ヶ[illegible]　将軍[illegible]　上杉[illegible]
[illegible]掃部頭[illegible]　将軍[illegible]
[illegible]外[illegible]行[illegible]　恐[illegible]
[illegible]有[illegible]　将軍出羽[illegible]
今日登城の[illegible]　将[illegible]
[illegible]迫[illegible]　[illegible]
退[illegible]　[illegible]　将軍[illegible]
[illegible]出羽[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

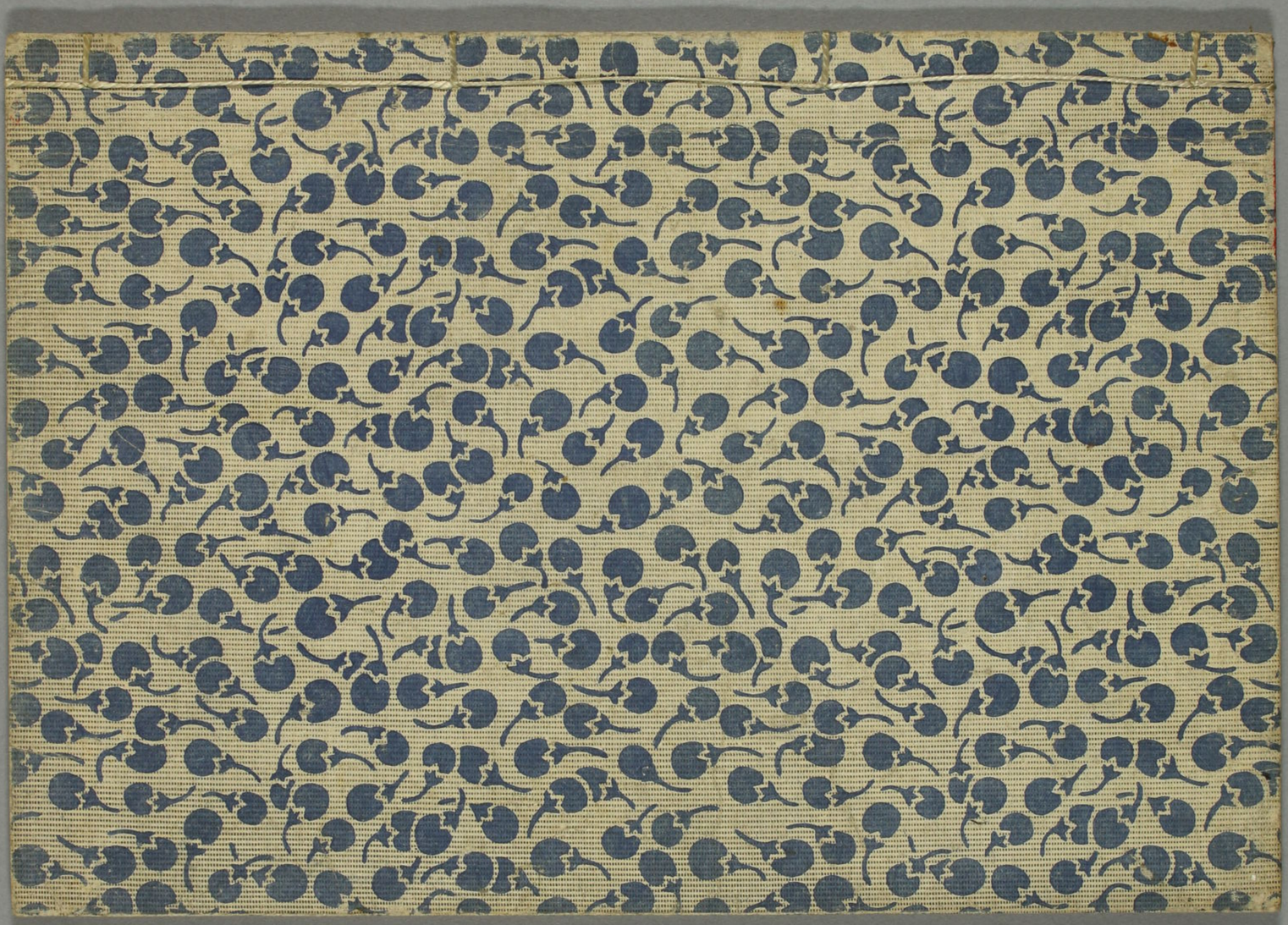
繁昌一度ハ古絵そと勤めり候ハ出羽守ハ役者ハ内ハ
と笠屋の地頭小人を撰こ法絵の席へ
ハ笠屋小姓ハ古草敷多ハ長ク柳
沢出羽守ハ義成ハ絵ハ下絵なるハ藤四郎
ハ何ハ成かめむけなるハ柳
乃ハ古例ハ附ハ
ハ天下ハ改道ハ柳沢
ハ一度ハ吏ハ
男ハ成ハ妻ハ
ハ兵ハ古間ハ
進ハ世平ハ

御意ハ事ハ
高成ハ月日成ハ
ハ法事ハ柳沢ハ
ハ小笠原源次郎ハ
ハ有ハ柳沢ハ
ハ私ハ
笠量ハ
ハ抱ハ
ハ成ハ
ハ法光代ハ
ハ成ハ先格ハ
ハ成ハ

思召し　御成あつて仰せられ豊後
大夫に仰せられ候ては彼手形八幡出陣と
申候て柳沢内外を囲み　真日下部
将軍足利方牧野平右衛門　御成と云
こしらへ　三方石垣　此時敵合八方石垣
申候　清蓋寺上杉云所　八幡八幡宮
仁右衛門　三郎中　足利軍　相云所
御陣　三郎　赤松源四郎　云所　兵
部少輔　則出陣　御盃
下さる　古城に　後三郎　新八郎と取る
兵部平　右対　いろは小　還御

丈　木庄国盛　柳沢　和泉
御成　仕　柳沢　和泉
若侍　花　腕　長角力
御出陣　出羽
将軍　平　真
御成　作出　牧野　木庄
　　和泉

護国女平記巻之六終

加州橋立

日比谷
梁浦